

事業所名

児童発達支援事業所 いつもすまいる

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		「かかわるすべての人がいつも笑顔で」を合言葉に、今何ができるかを全力で考え、地域の福祉・医療の発展に貢献できるように努力します。					
支援方針		お子様の状態やご家族のニーズに応じて、5つの領域（健康・生活/運動・感覚/認知・行動/言語・コミュニケーション/人間関係・社会性）を考慮しながら、一人ひとりに寄り添った支援を提供いたします。					
営業時間		9 時	00 分から	16 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	来所時の体温測定、体調確認、学校からの申し送りや保護者様が記載された連絡帳の内容の伝達・共有を行い、いつもと違うところがある際は保護者様への申し送りを行います。また利用中は必要に応じて医療的ケアを実施いたします。一日のスケジュールをわかりやすく示し、睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムが身に付いていくよう支援し、生活に必要な基本的技能は、繰り返しの練習で獲得・定着するよう支援させていただきます。					
	運動・感覚	理学療法士による個別の機能訓練で、一人ひとりの状態に応じての運動発達の促進や、変形・拘縮等の予防、筋力の維持・強化を行い、身体発達のサポートをしていきます。理学療法士のアドバイスを受けながら、ポジショニングによる姿勢の保持や活動時の介助を行っていきます。また、五感を刺激しながら遊んだり、平衡感覚や固有感覚を整える遊びを取り入れた活動を行い、遊びの要素を持った運動を通じて、様々な感覚の調和を図ります。					
	認知・行動	物の性質や仕組み、名前などに興味や関心を持てるよう、日々の活動の中でさまざまな物に触れる機会を提供していきます。数や物の大小などに関する考え方、色などの概念の理解を目指し、日付と一緒に確認しながらボードに貼っていったり、天気の確認をしたり、色のマッチングや歌などを取り入れたり、季節の行事を取り入れ四季や文化を感じながら、少しずつ学んでいけるよう支援します。また、場面にあった行動の習得を目指し、その都度状況を説明しながら活動していきます。					
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付ける等により、体系的な言語の習得を目指します。また、一人ひとりの状況に応じて、発声を促したり、絵カードや文字盤、ジェスチャー、ハンドサイン、表情等、それぞれに合ったコミュニケーション手段を用います。感情の発信に敏感になり、意味、意図をくみ取り、確認しながら、伝えたいことが伝わる喜びを感じてもらうことで、感情の表出に努めます。人とのやり取りをより楽しめるよう支援し、お友達とのやり取りの橋渡しを行います。					
	人間関係 社会性	日々の関わりの中でコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことで、安心して通所できる場所、安心して関われる人であるよう努めます。落ち着ける環境の中で、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。また、模倣遊びの中で様々な行動や表現力を身に付けたり、複数人で行うことで、役割分担や協力して物事を進めることを学んだり、手順やルールを守って遊ぶことで、他者とのかかわり方や社会性の発達を支援していきます。					
家族支援		こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助、レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援、子育てや障がい等に関する情報提供等、行わせていただきます。			移行支援		地域の保育・教育等、他のこどもと繋がりながら日常生活が送れるように、また障がい者施設等、将来的なライフステージの移行に向けての発達支援や、面談や訪問、相談援助を行わせていただきます。
地域支援・地域連携		こどもが通う保育所等や学校等との情報連携や、支援方法、環境調整等に関する相談等、またこどもが利用する相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所との生活支援や発達支援における連携を行わせていただきます。			職員の質の向上		毎月1回の事業所内研修をはじめ、資格取得・研修費用を会社が負担することで外部の研修にも積極的に参加し、参加後は伝達研修を行い、より良いサービスが全職員で提供できるよう、能力向上を目指しています。
主な行事等		4月：お花見、5月：こどもの日、6月：虫歯予防、7月：七夕、8月：夏祭り、9月：防災訓練、10月：ハロウィン、11月：紅葉狩り・収穫祭、12月：クリスマス、1月：お正月遊び、2月：節分、3月：防災訓練					